

2024年8月20日(火)

老球の細道822号

「ピック&ロール」の有効性

会津バスケットボール協会 室井 富仁

この夏休みはパリ五輪、福岡インターハイ、孫たちの「ミニバスちびっ子大会」とバスケットレベルのスタートからトップまで、全てのレベルのゲームを観戦することができた。パリ五輪では出身国に戻った NBA 選手たちが絶対的本命米国を相手にどのように戦うか、インターハイでは留学生を擁したチームに対して、地産地消の公立高校がどう立ち向かうかに注目してテレビ、バスケットライブなどで観戦していた。

トップレベルのゲームを見ていると、ほとんどのチームが「ピック&ロール(以下 P&R)」というボールマンスクリーンプレイを使用していた。特に米国男子チームでは、ほとんどチーム練習などしていなくとも、レブロン・ジェームスとステイファン・カリーの P&R の 2メンアタックでシンプルに得点が取れていた。

P&R とは、ボールを持たないプレイヤーがボールマンにスクリーンをセットするプレイで、ボールマンはディフェンスの動きを読み、ドライブアタックをするか、他のチームメートにシュートチャンスを作る。スクリーナーはゴール方向やドライブと反対方向などに動いてパスを受けてシュートを狙うプレイである。

P&R は私が高校生の頃から使われていたが、私たちのチームではほとんど使っていなかった。理由はスペースが狭くなり 1:1 がやりづらくなるからであった。私もこのプレイは大嫌いで、ほとんど 1:1 で抜くことで得点をとっていた。ところが、1990年代頃から NBA ユタジャズのジョン・ストックトンとカール・マローンによって一躍注目されるようになり、徐々にプレイのバリエーションも豊富になり、現代バスケットボールでは欠かせないオフェンス戦術となっている。現在多くのチームオフェンスには必ず含まれている。

バスケットボールのゲームにおけるベストオフェンスは、日本代表が目指した 3P 攻撃ではない。パリ五輪でも実証されたように①アイソレーション(1:1で攻める。パスがないのでターンオーバーが少ない)②インサイドアタック(日本代表はこの部分で負けた)である。その理由は、確率が高い、フリースローにつながる、リバウンドがとれるなどがある。P&R はこの二つの条件を満たしているので非常に有効なオフェンス(以下 OFF)となる。

* ボールマンがスクリーンを利用してオープンになる

* ボールマンのドライブとスクリーナーのドライブでペイントエリアのインサイドをアタック

* インサイドへのパスのみならず、ディフェンス(以下 DEF)のヘルプによって、アウトサイドにアドバンテージができ 3P シュートを打つことも楽になる

ミニバスケットのレベルから P&R を使用しているチームがあるが、形だけマネしても通用しない。ボールマンのドリブルのスキルと非常に高度な状況判断が必須である。状況判断では、ボールマンとスクリーナーの DEF さらにヘルプ DEF の状況まで見て判断することが必要になる。DEF が OFF のプレイを教えてくれる。見る!見る、みるみる上手くなる。